

介護職員等処遇改善加算の算定に係る「職場環境等要件」について(令和7年度)

医療法人 慈仁会 介護老人保健施設 くじらヶ丘

【 職場環境等要件に関する当施設の取組み 】

入職促進に向けた 取組み	・法人や事業所の経営理念やケア方針、人事育成方針、その実現のための施策、仕組みなどの明確化
	・事業所の共同による採用、人事ローテーション、研修のための制度構築
	・他事業所からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者、有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)
資質の向上や キャリアアップに 向けた支援	・働きながら介護福祉士を目指すものに対する実務者研修の受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
	・研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	・エルダー、メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入
	・上位者、担当者等による面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援 多様な働き方 の推進	・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
	・有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に〇回取得、付与日数のうち〇%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている
	・有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行って
腰痛を含む 心身の健康管理	・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実
	・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上(業務 改善及び働く環境 改善)のための取組	・厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等)を行っている
	・現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等)を実施している
	・5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている
	・業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
	・介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器(ビジネスチャットツール含む)の導入
	・各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施
	・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
やりがい・働きがい の醸成	・利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供